

TOTO

和風改造腰掛便器 (CS501F)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

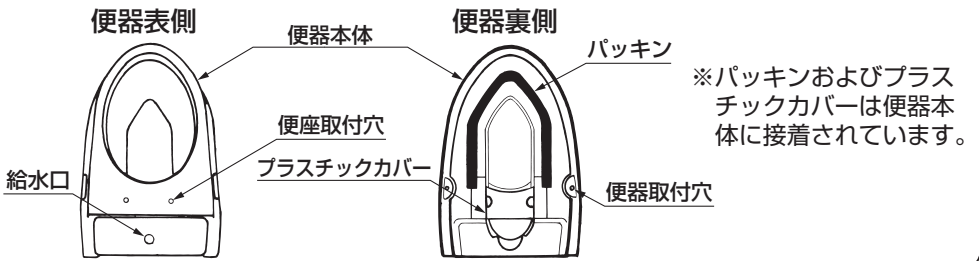
表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

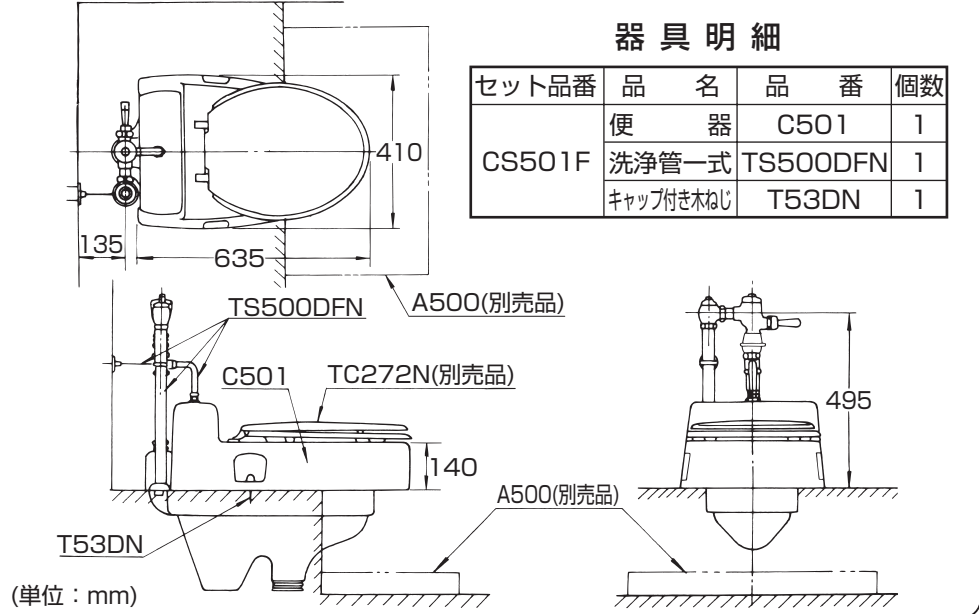
 禁止	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。	 必ず実行	 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

 注意	
 禁止	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
 必ず実行	設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

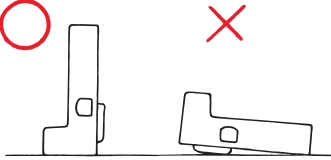
各部のなまえ



取付完了図



注意

 禁止	開梱後は、便器裏側のプラスチックカバーに荷重がかからないように立てて置いてください。 プラスチックカバーが割れて水漏れの原因になります。	
---	---	---

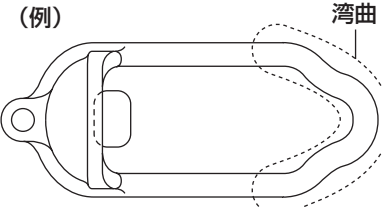
取付条件

1. 取り付け可能な和風両用便器のセット

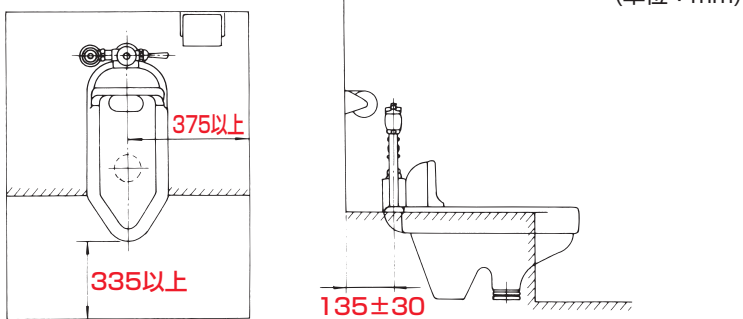
C375AV C375AVF C750AV	} + フラッシュバルブ	T(V)150NCRタイプ TV700RCタイプ TV750CRタイプ

※給水には最低必要水压0.07MPa(流動時)を、確保してください。(最高水压0.7MPa)

注意

 禁止	C375AV・AVFで、便器リム手前の形状が湾曲している場合、和風改造腰掛便器はセットしない。 置き台のパッキン部と形状が合わないため水漏れの原因となります。	(例) 
---	---	---

2. 取り付けに必要なトイレ内の寸法



3. ドアの開閉方向

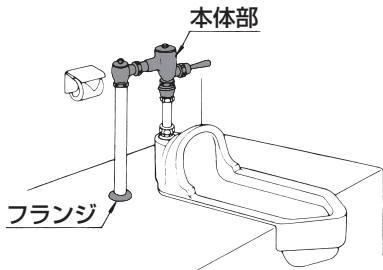
ドアが内開きの場合は、便器に当たり使用できない場合がありますのでご注意ください。

取付方法

① 既設フラッシュバルブの取り外し

給水元バルブを閉じ、フラッシュバルブを取り外す。

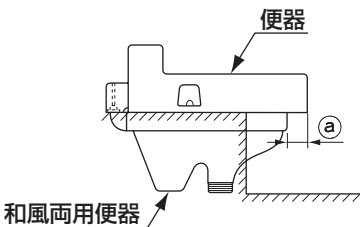
※フラッシュバルブ本体部とフランジは再使用しますので、ていねいに扱ってください。



② 便器の設置

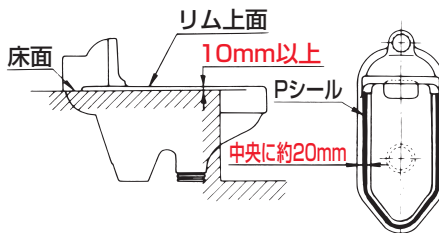
① 便器を和風両用便器の中心にあわせて設置し、右図の①寸法が下表になるように位置関係を決め、床に取付穴芯と便器の外観形状をけがく。

便 器 品 番	① 寸 法
C375AVF C375AV	約60mm
C750AV	最 小(約75~85mm) (便器が和風両用便器の前立に当たるまで押しつけてください。)



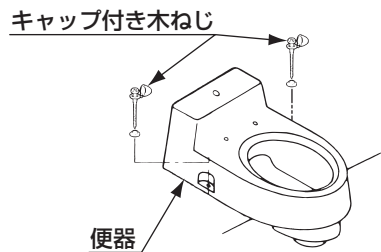
② 便器を外し、下穴をあけ、床面からリム上面までの寸法を確認する。

10mm未満の場合は図のようにPシール(TZ106A：径6mmまたはTZ106B：径10mm)を使用し、リム中央に幅約20mmで床面から10mm以上になるように盛り上げる。



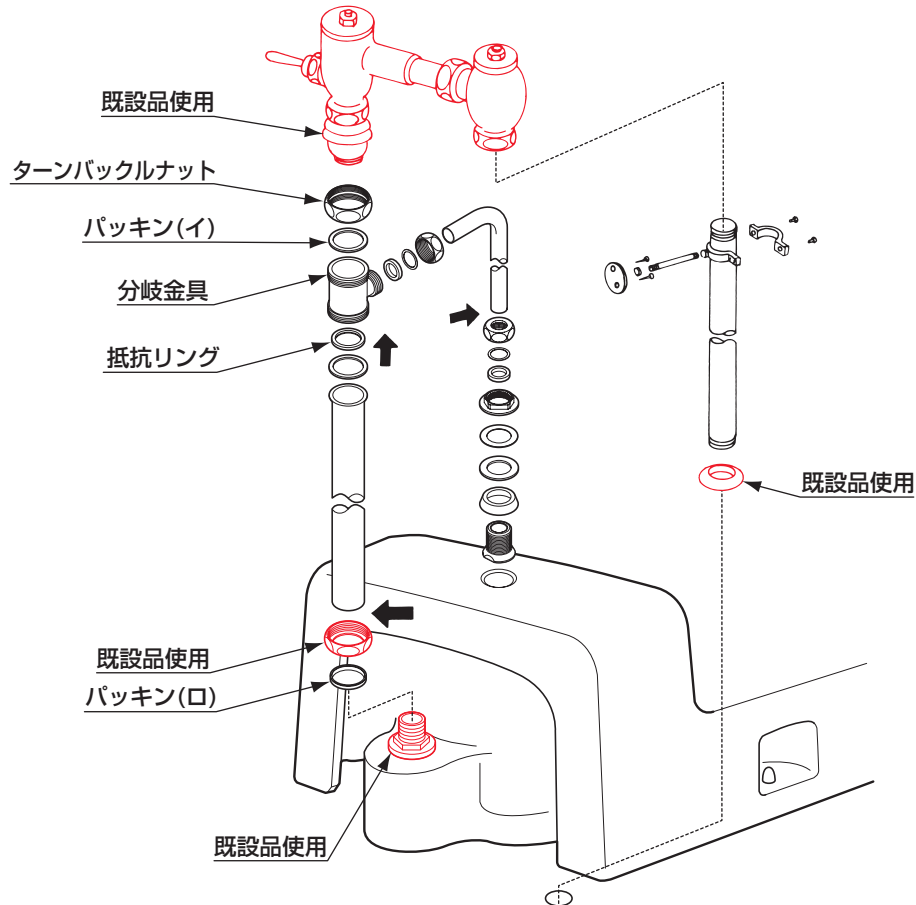
② 便器の設置 (つづき)

- ③ 便器取付穴2カ所を、付属のキャップ付き木ねじで固定する。
※床がタイルなどの場合は樹脂プラグ(HH04060)を使用してください。



③ フラッシュバルブの取り付け

※下図の要領でフラッシュバルブを取り付けてください。



③ フラッシュバルブの取り付け(つづき)

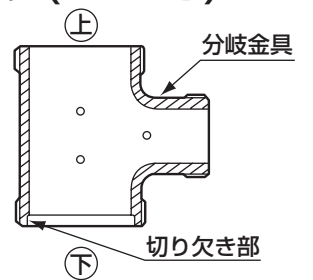
※分岐金具のフラッシュバルブ本体側は、ターンバックル式になっていますので上下の方向性があります。必ず、切り欠きのある方を下向きにしてください。

※抵抗リングは、必ず切り欠きに挿入してください。挿入しないと便器を十分に洗浄しません。

※差し込み接続部(↑部)は、それぞれ**15mm以上の差し込み代を確保するよう**適当な長さに切って接続してください。

※パイプホルダーはフラッシュバルブを固定するため、必ずご使用ください。なお、パイプホルダーは、壁面より給水管中心までの寸法が105mm～165mmまで取り付け可能です。現場の寸法にあわせて、ねじ部を切って調節してください。

※パッキン(イ)、(ロ)は、付属の新しいパッキンをご使用ください。

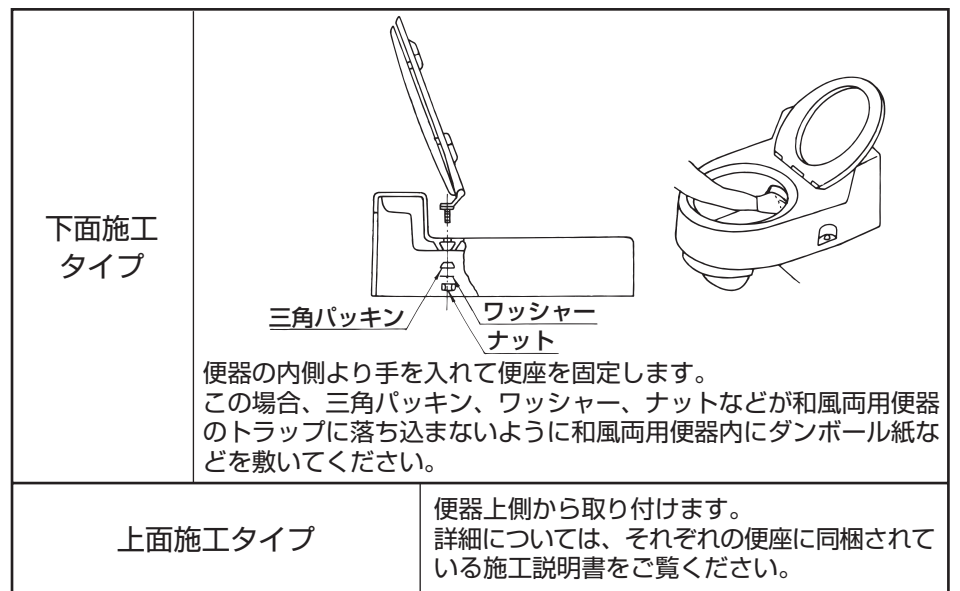


④ 便座の取り付け

便座は別売品です。別途注文のうえ、下図のように取り付けてください。

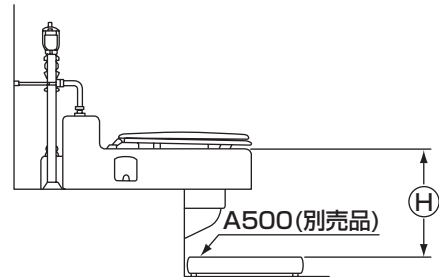
※取り付け可能な便座は、エロンゲートサイズとなります。

※脱臭装置付き便座を取り付けた場合でも十分な脱臭効果を得られない場合があります。



⑤ 便器取り付け高さの確認

腰掛便器の場合、床から便器上面までの高さ(H)は350mmから380mmが使い勝手のよい高さです。この範囲になるように床面をかさ上げるかまたは踏台などで調整してください。なお別売品として高さ65mmの踏台(品番A500)を用意していますので、ご利用ください。



⑥ 紙巻器取り付け位置変更

今までと反対の方向で便器を使用しますので、紙巻器を使いやすい位置に変更してください。

取り付け後の確認

取り付け完了後は、2～3度操作して、正常に作動するか、洗浄状態や接続部より水漏れがないかを確認してください。

※洗浄が十分行えるよう水勢および水量の調節は、フラッシュバルブの開閉ねじおよび調節ねじで行ってください。

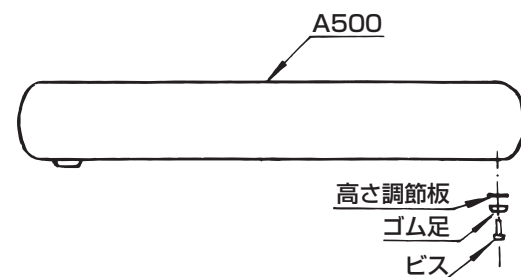
踏台(品番A500)の仕様

(寸法) 700×400×65mm(滑り止めゴム足付き)
(色) アイボリー(#54)
(材質) ポリエチレン
(希望小売価格) ￥4,700 (税抜)

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

注意

- 踏台のそりや変色を避けるため、直射日光が当たる場所に長時間置かないでください。
- 熱湯で洗わないでください。
- クレンザーやタワシは表面を傷つけますので使用しないでください。



※踏台が、ガタつく場合は付属の高さ調節板を図のようにゴム足部に取り付けてください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。